



## 北海道ブロック



発行人：支部長 木村 眞司

北海道ブロック支部事務局  
(市立美唄病院内)  
TEL:0126-63-4171  
e-mail:hpca.jimukyoku@gmail.com

### ニュースレター No.21 (2018.06)

文責 北海道ブロック副支部長 小嶋 一 (手稲家庭医療クリニック)

[kojimah@gmail.com](mailto:kojimah@gmail.com)

#### <報告① サイトビジット・ポートフォリオ検討会>

2018年4月20日札幌徳洲会病院で開催されました。

参加者31名(サイトビジットに指導医・事務職員14名、ポートフォリオ検討会に専攻医17名)で、過去のサイトビジット・ポートフォリオ検討会と比較してかなり大きな会となりました。ご協力いただいた札幌徳洲会病院、特に副院長の中川麗先生に心からお礼申し上げます。

サイトビジットは時間が足りなくなるほど議論が白熱し、新しいプログラムの悩みや課題を共有することができました。当日は北見赤十字病院や名寄市立総合病院など遠方からの出席もあり、充実した意見交換を行うことができました。札幌徳洲会病院の施設の素晴らしさにも感動しました。

ポートフォリオ検討会は日本専門医機構の総合診療研修プログラムに入った専攻医を含め日本プライマリ・ケア連合学会による家庭医療専門研修プログラムで採用しているポートフォリオに準じて北海道勤医協総合診療専門研修プログラムの佐川拓先生と倶知安厚生病院の濱本航先生の2名が発表しました。佐川先生はBPSモデルを用いて問題解決を試みた症例、濱本先生はDMAT隊員の特性を活かして院内マニュアル作りでの質改善についての発表でした。たくさんの意見が出て大変有意義な会になったと思います。

#### <報告② 臨床研修病院合同プレゼンテーション>

4月22日(日)札幌市パークホテルで北海道庁主催の道内臨床研修病院合同プレゼンテーションが開催され、総合診療のブースとして北海道ブロック支部長木村先生が出席されました。

道内の臨床研修病院が一堂に会する貴重な機会でもあり、引き続き総合診療ブースを出し続ける予定です。医学生、初期研修医の皆様への周知を今後ともよろしくお願いします。

#### <報告③ 北海道ブロック支部代議員選挙について>

選挙結果が日本プライマリ・ケア連合学会ホームページに掲載されております。

[http://www.primary-care.or.jp/about/pdf/rep\\_hokkaido3031.pdf](http://www.primary-care.or.jp/about/pdf/rep_hokkaido3031.pdf)

代議員に選出された先生方、どうぞ任期期間中よろしくお願いします。

また役員についても選挙があり、次のページのと通りの結果となっております。役員の先生方につきましても北海道ブロック支部の活動ご支援よろしくお願いします。

## 北海道ブロック支部役員・代議員名簿 (H30・H31 年度)

役職	氏名	勤務先等	備考
支部長	木村 眞司	札幌医科大学 医療人育成センター教養教育研究部門(英語担当)	副理事長
副支部長	臺野 巧	勤医協中央病院 総合診療センター	
副支部長	山田 康介	更別村国民健康保険診療所	
副支部長	木佐 健悟	JA 北海道厚生連俱知安厚生病院 総合診療科	
副支部長	小嶋 一	溪仁会 手稲家庭医療クリニック	
幹事	大門 伸吾	ホームケアクリニックあづま	
幹事	加藤 利佳	溪仁会 手稲家庭医療クリニック	
幹事	岸 不盡彌	北海道医療大学	
幹事	日下 勝博	国民健康保険 町立南幌病院	
幹事	齋藤 正美	学校法人鶴岡学園 北海道文教大学 人間科学部 理学療法学科	
幹事	佐々尾 航	北海道立羽幌病院	
幹事	佐藤弘太郎	北海道家庭医療学センター	
幹事	瀬野尾智哉	勤医協余市診療所 医局	
幹事	田村 英俊	寿都そよかぜ薬局	
幹事	中川 貴史	医療法人北海道家庭医療学センター 栄町ファミリークリニック	
幹事	古田 精一	北海道科学大学 薬学部	
監事	森崎 龍郎	幌加内町立幌加内診療所	
監事	武田 伸二	(医・社)健伸会東町ファミリークリニック	
全国理事	草場 鉄周	北海道家庭医療学センター	副理事長
代議員	安藤 高志	国民健康保険 上川医療センター	
代議員	稻熊 良仁	JA 北海道厚生連 俱知安厚生病院	
代議員	今江 章宏	寿都町立寿都診療所	
代議員	今本千衣子	医療法人社団 今本内科医院	
代議員	上野 暢一	若草ファミリークリニック	
代議員	大久保彩織	勤医協札幌病院 医局	
代議員	大滝 純司	北海道大学大学院医学研究科 医学教育推進センター	
代議員	太田 桂一	JA 北海道厚生連俱知安厚生病院 総合診療科	
代議員	大塚 亮平	溪仁会 手稲家庭医療クリニック	
代議員	尾形 和泰	公益社団法人 勤医協札幌病院	
代議員	小熊 豊	砂川市立病院	
代議員	加藤 達也	昂希内科クリニック	
代議員	川口 篤也	函館稜北病院	
代議員	國本 正雄	(医)健康会くにもと病院 茂木行	
代議員	笹岡 佑樹	札幌溪仁会リハビリテーション病院 薬剤科	
代議員	佐藤 健太	勤医協札幌病院	
代議員	柴田 睦郎	北海道医療大学病院	
代議員	鈴木 和仁	道北勤医協一条通病院	
代議員	田中久巳彦	新日鉄住金株式会社 室蘭製鉄所 安全環境防災室	

代議員	中島 徹	向陽台ファミリークリニック	
代議員	長瀬 清	北海道医師会	
代議員	夏目 寿彦	むかわ町国民健康保険 穂別診療所 医局	
代議員	藤原 昌平	手稲家庭医療クリニック	
代議員	星 哲哉	手稲溪仁会病院	
代議員	堀 哲也	社会福祉法人 北海道社会事業協会帯広病院 総合診療科	
代議員	松浦 武志	勤医協中央病院	
代議員	松田 諭	円山公園内 啓明家庭医療クリニック	
代議員	村井紀太郎	北星ファミリークリニック	
代議員	八木田一雄	松前町立松前病院	
代議員	山口 章江	十勝勤医協 帯広病院	

<告知① 第6回北海道地方会・定期総会兼学術集会>

会員の皆様にはチラシなど郵送させていただきました。いよいよ7月7日まで1ヶ月となりました。お申し込みは6月15日までとなっております。多くの皆様の参加をお待ちしております！

申し込み・詳細については以下のサイトをご参照ください

<http://jpca-hokkaido.jp/chihokai2018>

<告知② 北海道プライマリケアフォーラム・学術集会>

11月17日(土)開催です。現在ワークショップ講師の公募を行っております。道内の総合診療後進育成のためにぜひご協力をお願いします！

学術集会も同時開催ですので、一般演題を募集しております。(7月4日締め切りです)

たくさんの方のご参加をよろしく申し上げます！

詳細は以下のサイトをご参照ください

<http://jpca-hokkaido.jp/forum2018>

<告知③ 北海道プライマリケアキャンプ>

これまで幌加内、寿都、倶知安、美唄、せたなで実施してきたプライマリケアキャンプですが、平成30年9月もしくは10月に留萌(留萌市立総合病院)にて開催に向け調整しております。詳細がきまりましたらご案内しますので、こちらも医学生、特に低学年の医学生への周知をよろしく申し上げます。

<告知④ 北海道庁総合診療医人材確保・養成事業>

北海道庁からの委託・支援を受け、医学生や初期研修医など総合診療を目指す医師のリクルートとして北大、札幌医大、旭川医大で普及啓発活動(講義、ワークショップ、懇親会など)を平成29年度より行っております。平成29年度は5回の講演を行いました。(参加学生合計63名)

今年度も同様に開催予定としております。様々な形でご協力をお願いすることとなりますのでよろしくお願いいたします。

<告知⑤ ミニ地方会>

以前より木村支部長の意向で開催検討しておりましたミニ地方会ですが、今年度名寄市立総合病院で開催することとなりました。詳細は決まりましたらご案内いたしますが、引き続きミニ地方会を全道各地で開催したく以下にご案内いたしますのでぜひみなさまの地元開催をご検討ください！

---

---

北海道ブロック支部「ミニ地方会」 募集要項（案）

平成 30 年 5 月 16 日

日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部

支部長 木村 眞司

ミニ地方会担当副支部長 木佐 健悟

ミニ地方会（仮称）開催地の公募について

現在、北海道ブロック支部では6月～7月に全会員対象の「地方会」、11月頃に医療系学生や若手医療職を主な対象にした「北海道プライマリ・ケアフォーラム」を企画し、多くの参加者を集めています。しかし、広い北海道の各地の医療関係者が気軽に参加できているかというと、さらなる工夫の余地があると考えています。

一方、他のブロック支部では、関西、九州などのブロック全体の地方会の他に、各府県単位での地方会も年1回程度開催する動きが出てきています。これに習って、北海道ブロック支部でも札幌以外のエリアで規模をコンパクトにした「ミニ地方会」（仮称、以下、ミニ地方会と記載）を開催したいと考えており、その開催地を公募いたします。

北海道内での各地域での集まりを作ることにより、地域内でのつながりを醸成し、プライマリ・ケア、総合診療の盛り上がりにつなげます。また、全国や札幌の学術集会に行く機会が少ない地域の医療従事者のために生涯教育の単位を付与する機会を作ります。

開催目的はプライマリ・ケアの学術的な内容に限らず、地域の皆様にプライマリ・ケアや総合診療／家庭医療について広く知っていただくを目的としてもよいと考えております。従って、参加対象は学会員に限定する必要はありません。

開催についてはブロック支部が全面的にサポートします。細かい内容は改めて打ち合わせをしますので、ブロック支部事務局またはブロック支部長、副支部長までお声がけください。

【開催に向けての流れ】

世話役代表＋事務局を決定します。ブロック支部と連絡を取りながら、企画を進めていきます。医療機関（後期研修プログラムをもっているところなど）でも、有志のグループでも可です。

日時や場所を決定します。基本的には開催地の都合で決めていただいて結構です。日時については特定の講師やワークショップの開催を希望される場合は、講師側の都合もありますので、ご相談ください。場所は病院の講堂や会議室、地域の公民館などが経費節約には良いかと思いますが、開催地のホテルなどでも構いません。

開催日時は、例えば、土曜日の午後の4時間程度が想定されますが、それぞれの地域で参加しやすい曜日、時間帯を設定してください。

約4時間の例を以下に示しますが、これにしばられる必要はありません。

受付	～14時00分
開会の挨拶	14時00分～14時10分
基調講演 60分+質疑応答 10分	15時10分～16時20分
休憩	16時20分～16時30分
ワークショップまたはスキルステーション（並列で複数の企画をすることも可）	16時30分～18時00分

講師役は道内の関係者に依頼した方が経費面で有利です。基調講演、ワークショップなどで希望があれば、ブロック支部の関係者や過去に地方会やプライマリ・ケアフォーラムで開催した会員に打診をすることも可能です。

口頭演題を加えることも可能です。地方会では発表と質疑で一題10分程度としています。

会費については、2000円～5000円程度が想定されますが、節約できればもっと安くできるかもしれません。無料でも構いません。地域事情により、世話役代表が決定します。（会場費、講師交通費などに充当します。）地方会では会員と非会員で差をつけていますが、ミニ地方会ではブロック支部会員かをチェックするのは困難ですし、地域の多くの方が参加しやすくするという点で、差はつけない方が良いと思います。支部の行事としてブロック支部から10万円の予算をつけます。（支部の財政状況にもよりますので金額は将来的には変更となる可能性があります。）講師謝礼や交通費については、地方会では別紙の支部規程で行っています。特にブロック支部会員はなしまたは薄謝としており、費用の縮減につながりますので、これに準じていただくようお願いいたします。

懇親会の開催は任意です。会費制として各自負担する形になります。あると盛り上がると思います。地方会やプライマリ・ケアフォーラムでは託児サービスを用意していますが、コストや準備の面もあるので設置するかどうかは開催地の判断にお任せします。子連れ参加可として騒いだら部屋の外に出てもらう、という対応でも良いかと思います。

なお、製薬企業などのスポンサーについては、本学会、地方会とも避ける流れになってきていますので、つけないようにお願いします。病院や後期研修プログラムの研修費などから補助していただくのは構いません。判断に迷うようであればブロック支部までお問い合わせください。

広報は開催地の地域事情もあると思いますので地元についてはお任せしますが、ブロック支部の会員向けには本学会およびブロック支部のメーリングリスト、ブロック支部のウェブサイト（本学会からはリンクを貼る形）、全国学会ニュースレター（3月、6月、9月、12月）が使用可能です。投稿の仕方がわからなければ、ブロック支部側でやります。地域のプライマリ・ケア関係者には直接連絡を取った方が参加者が増えるかもしれません。

日本プライマリ・ケア連合学会の生涯教育単位の申請（医師・薬剤師向け）は支部事務局で行います。企画内容が日本医師会の生涯教育制度や産業医制度の単位の条件を満たす場合で申請を希望される場合は、お手数ですが開催地の事務局から直接郡市医師会にご相談ください。

ビラ・開催要項ができれば、参加申込みを受け付けます。会場の都合で定員を決める必要であれば設定してください。ブロック支部事務局が参加申込みを受け付けると、細かい地域事情に配慮できないので、開催地の事務局で受け付けをお願いします。参加申込み受付の手間を省くために自由参加にするという手もあります。

開催当日の運営も開催地のメンバーでお願い申し上げます。日本プライマリ・ケア連合学会の生涯教育単位を希望される参加者には名前を所定の用紙に記入してもらい参加証を渡します。（ブロック支部からお送りします。）終了後は学会ニュースレターなどで紹介します。

---

<その他の平成30年度の支部関連行事予定>

**・北海道ブロック支部幹事会 平成30年10月27日**

<ご質問・ご要望をお寄せください！>

北海道ブロック支部では支部長・副支部長が毎月一回ビデオ会議で行なっています  
副支部長の担当業務は以下の通りです。ご意見・ご質問があればお気軽にお寄せください。

山田副支部長：サイトビジット・ポートフォリオ検討会、専攻医関連

臺野副支部長：学生関連、支部広報・ウェブサイト関連

木佐副支部長：ミニ地方会、キャンプ、学術

小嶋副支部長：地方会、フォーラム、ニュースレター、議事録

日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部事務局

〒072-0031 北海道美唄市西2条北1丁目1-1

市立美唄病院内 代表電話 0126-63-4171

北海道ブロック支部事務局アドレス [hpca.jimukyoku@gmail.com](mailto:hpca.jimukyoku@gmail.com)

担当：高倉・今澤